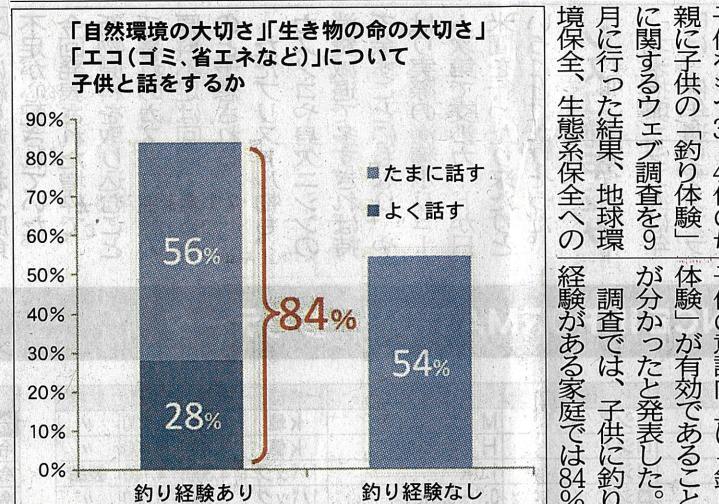


## 子供「釣り体験」有効 環境保全への意識向上

日本さかな検定協会

母親に調査

日本さかな検定協会は  
小学4年生から中学生の



母親に「釣り体験」  
は有効か?と聞いて  
回答した母親の約4割が「体験させた  
いが機会がない」と思つ  
ている」とも分かった。

日本さかな検定協会と釣り用品メーカーのグローブライド(株)は、「とけん受」(アミリーフィッシング!)と題して、長野県諏訪湖で開催した第6回「とけんXD」とDAIWAグローブライド(株)主催によるドーム船でワカサギ釣りを楽しんだ。開始前掛けや重り、ビニールなどを片付け、下船後は使用した施設の周辺の清掃を行った。

検者アミリーフィッシング!との釣りへの意識付けの向上を目指す。また食べる分だけA.I.W.A. グローブライド(株)アミリーフィッシング!を行ってきたが、心をもて、おいしく食べ改めて地球環境保全の意識を高める取り組みを今月から開始した。その第一歩として、釣りを楽しんだあと片付けて利用した周辺の清掃を徹底することで「釣りを通じた環境保全」を徹底すること。

アミリーフィッシング!の命を無駄にせず感謝の

感想の気持ちを、活動を通じて根付かせたいとし

ており、今後アミリーフィッシング!を通じて環境保全などを学ぶ機会となるよう取り組みを推進していく。



釣りのあとは  
清掃活動

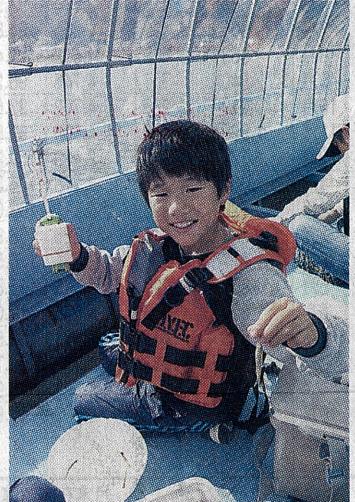
子供をもつ30~40代の母親に子供の「釣り体験」に関するウエブ調査を9月に行なった結果、地球環境保全、生態系保全への意識向上に「釣り体験」が有効であること

が分かったと発表した。調査では、子供に釣り経験がある家庭では84%

が環境に関する話をしており、経験のない家庭と比べると30歳の差があるなど、体験の有無によって、「生き物の命の大切さ」や「自然環境の大切さ」

「H-CO(ゴミ、省エネなど)」について親子で話す頻度に違いがあるというデータが得られた。

また母親に「釣り体験は有効か?」を聞いたところ、約7割が「役立つ」と回答。そのほか、「釣り経験なし」の子供は全体の7割で、回答した母親の約4割が「体験させたいが機会がない」と思つ



諏訪湖で第6回開催  
今月1日には長野県の諏訪湖で開催した第6回「とけんXD」とDAIWAグローブライド(株)主催によるドーム船でワカサギ釣りを楽しんだ。開始前掛けや重り、ビニールなどを片付け、下船後は使用した施設の周辺の清掃を行った。

ドーム船でワカサギ釣り体験する子供  
諏訪湖で開催した第6回「とけんXD」とDAIWAグローブライド(株)主催によるドーム船でワカサギ釣りを楽しんだ。開始前掛けや重り、ビニールなどを片付け、下船後は使用した施設の周辺の清掃を行った。

ドーム船でワカサギ釣り体験する子供

諏訪湖で第6回開催

にグローブライドが海洋環境の現状と釣りを楽しむためのマナーなどをレクチャーを行い、周辺の環境美化への呼び掛けを行った。

## 釣りを通して環境保全活動

日本さかな検定協会

### グローブライドとコラボ

開催レポートは <http://www.totoko.com/> で閲覧可能。

「第10回日本さかな検定」は2019年6月23日に全国一斉に行われる予定。

kyosen029